

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.67

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権文化祭開催事業	担当部署	人権福祉センター	
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 49 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると				
(小項目)		人権			終期	未定 <input type="text" value=""/>
施策	1	人権の尊重				
基本事業	1	人権行政の推進				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	保育所・認定子ども園・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等に人権問題の存在とその解消に向けた取組みや人権尊重の大切さを訴えていくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組む。		事業内容(R1)	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会				
実施方針	①鳴門市人権文化祭を開催 ②小学生児童を対象にした同和カルタ大会を引き続き開催 ③少子化に伴う展示作品数の減少が懸念されることから、社会福祉法人からの作品展示への参加について協力を継続要請するとともに、パワーポイントによる取組パネル作成と投影など負担軽減策を試行しながら、展示の維持と内容充実に努める。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権文化祭展示作品数	1,832	1,528	2,200	2,200	2,200	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	162	107	170	170	170	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	人権文化祭来場者数		7,660	4,240	9,500	5,000	5,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①人権問題に関する取組パネル、人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会		継続	継続	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額	全体予算額		
	計	1,136	0	1,136	1,273	1,273

事務事業名	人権文化祭開催事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第46回鳴門市人権文化祭を開催した。人権に関する作品等の展示や大麻中学校による人権劇、近畿大学教授を講師に招き、「差別の現実と運動の経験に学ぶ」と題して、記念講演会を開催したほか、毎年好評であった小学生児童を対象にした同和カルタ大会を引き続き実施した。また、近年注目されている人権課題である「インターネットと人権」に関するパネルを「あいぼーと徳島」から借受け、展示・啓発を行った。
--------	-----------	---

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 人権文化祭展示作品数	1,528	1,957	2,200	2,200	2,200	件
	2 人権文化祭記念講演会来場者数	107	130	170	170	170	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	人権文化祭来場者数	4,240	4,817	5,000	5,000	5,000	人
	目標達成率(実績/目標)		50.7				%

事業費推移 (円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額		令和2年度への繰越額	
			決算額	最終事業費	決算額	最終事業費
	計	902,090	0	915,835	0	915,835
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	677,000	0	321,000	0	321,000
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	225,090	0	594,835	0	594,835

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数		成果指標に対する所見	来場者数は増加したものの、成果目標のほぼ半数であったため、C評価とする。		
	目標	9,500	人				
	実績	4,817	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>部落差別解消推進法(平成28年12月施行)により、行政の責務が明確にされる中、未だ差別落書きやインターネットへの悪質な書き込みなど、さまざまな人権侵害の事象が発生しており、なお一層の人権教育・啓発が必要であることから、今後も、人権意識の普及と高揚のため、人権文化祭開催事業を継続する必要がある。</p> <p>また、平成29年度より開始したデイサービス事業などを通じて、地域に開かれたコミュニティセンターとしての役割を推進し、広く市民に開かれた人権文化祭の運営形態が求められている。</p> <p>平成29年10月に鳴門市隣保館運営審議会から答申が出されたことから、答申内容を反映できるような人権文化祭の運営形態を検討していく必要がある。</p>
----	--

今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
--------	------	-------	--------	------	---

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	令和2年度に限り、新型コロナウイルスの感染拡大防止策である学校関係の休校措置等に対し、各学校の履修状況を踏まえた作品出展とすることで負担軽減措置等を講じるものの、コンパクトでも魅力ある人権文化祭とする。
	令和3年度	より一層の人権意識の普及・高揚を図るとともに、来場者数を維持しつつ、人権文化祭開催イベントとして同和カルタ大会に加え、来場者が体験・参画できるようなイベントを企画するなど、新たな事業を検討する。